

<第1四半期決算 補足説明資料>

2 0 2 0 年 3 月 期

第 1 四 半 期 決 算 概 要

2019年8月8日

 日本タングステン株式会社

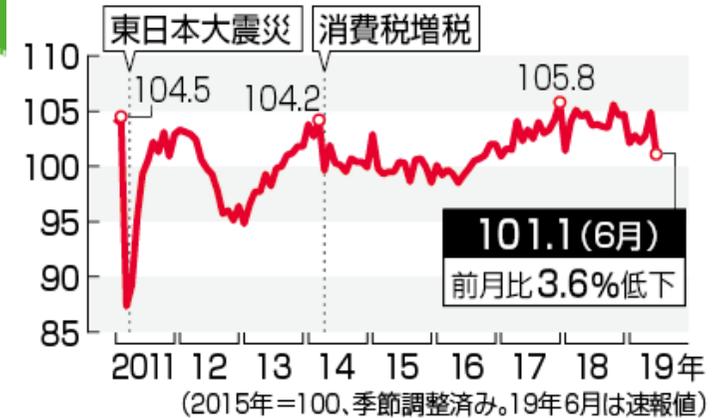
海外

米中貿易摩擦の影響や中国経済の減速等、先行き不透明な状況で推移

国内

製造業を中心に景況感が悪化する等景気減速の懸念が強まっている

鉱工業生産指数の推移



(出典:時事ドットコム)

■当社グループの業績等

●損益の状況(連結)

(単位:百万円)

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	対前年比 増減額 (増減率)
売上高	3,126	2,811	△314 △10.1%
営業利益	335	154	△180 △53.8%
経常利益	370	205	△165 △44.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	262	129	△133 △50.9%

《当第1四半期の概況》

・機械部品事業

前期好調の海外向けNTダイカッターが顧客の設備投資抑制等により低調に推移し、売上、損益ともに悪化

・電機部品事業

売上はほぼ横ばいも電極・EV用接点の増収等で損益は改善

・全体では減収・減益

●財務の状況(連結)

(単位:百万円)

	2019年 3月期 期末	2020年 3月期 第1四半期	前連結会 計年度末 比増減額
総資産	16,392	16,277	△115
負債	6,370	6,308	△61
純資産	10,022	9,968	△53

《当第1四半期末の概況》

・総資産:前期末比、115百万円減少
(流動資産は減少、固定資産は増加)

・負債:前期末比、61百万円減少
(流動負債は減少、固定負債は増加)

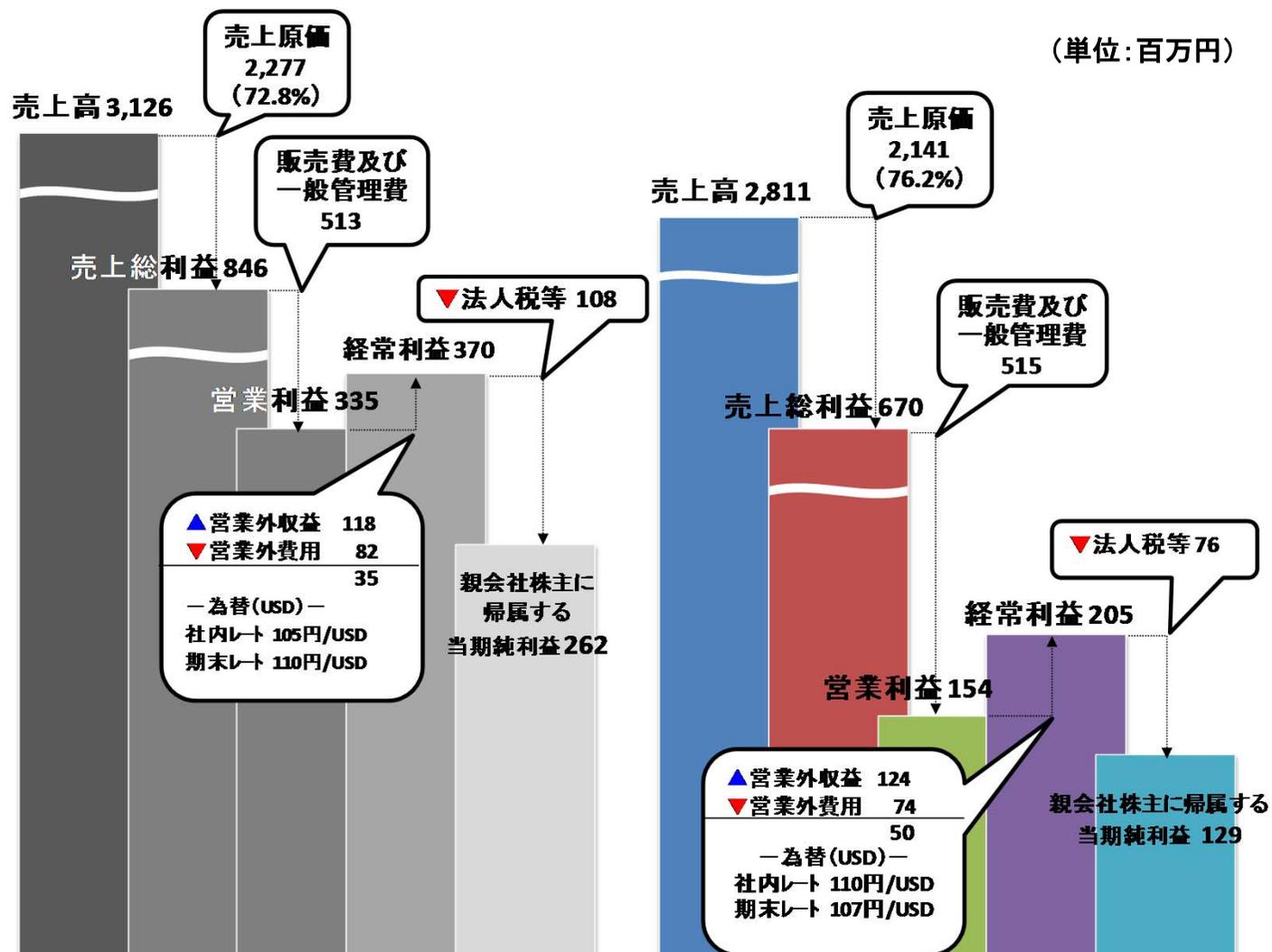
・純資産:前期末比、53百万円減少

■ 損益の概況(連結)

2019年3月期第1四半期

2020年3月期第1四半期

(単位:百万円)



項目	要因
売上総利益	売上高の減少により減益
営業利益	生産効率の向上等原価低減策に継続して取り組むも、売上高の減少が響き、減益
経常利益	賃貸不動産の計画修繕に伴う費用が減少し、営業外収益が改善するも、営業利益の減少により減益
親会社株主に帰属する当期純利益	税金費用が減少するも営業利益等の減少により減益

■ 事業部別売上高の状況

2020年3月期第1四半期 セグメント別売上高

機械部品事業

1,522
54%
(59%)

超硬合金 製品



セラミック 製品



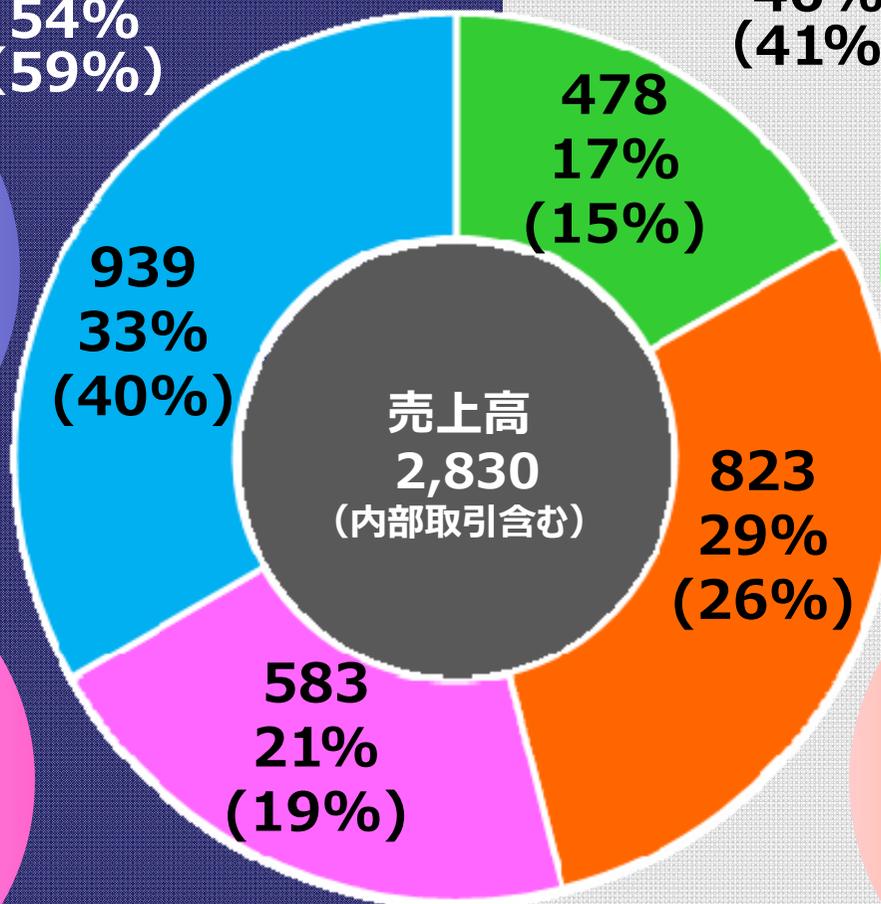
電機部品事業

1,302
46%
(41%)

金属材料 製品



電気・電子 材料製品

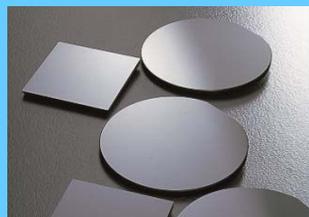


単位：百万円

() は前年同期の占有比率

■ 事業部別主要製品の状況

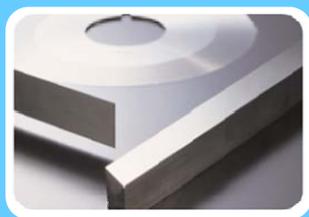
機械部品事業



情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板
・前年並みで推移



衛生用品関連のNTダイカッター
・海外向けが顧客の設備投資の抑制等により低調



液晶・電池関連の治工具製品
・海外向けで前年の反動減により減収

	2019年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,839	1,522	△316 (△17.2%)
営業利益 (百万円)	355	107	△248 (△69.8%)

※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

■ 事業部別主要製品の状況

電機部品事業



自動車関連の接点製品及び電極製品
・電気自動車市場の拡大を受け増収



タングステンワイヤー製品
・医療関連のカテーテル用が伸長
・照明関連は車載用が減収

	2019年3月期第1四半期	2020年3月期第1四半期	対前年四半期比
売上高 (百万円)	1,296	1,302	5 (0.4%)
営業利益 (百万円)	114	183	68 (60.0%)

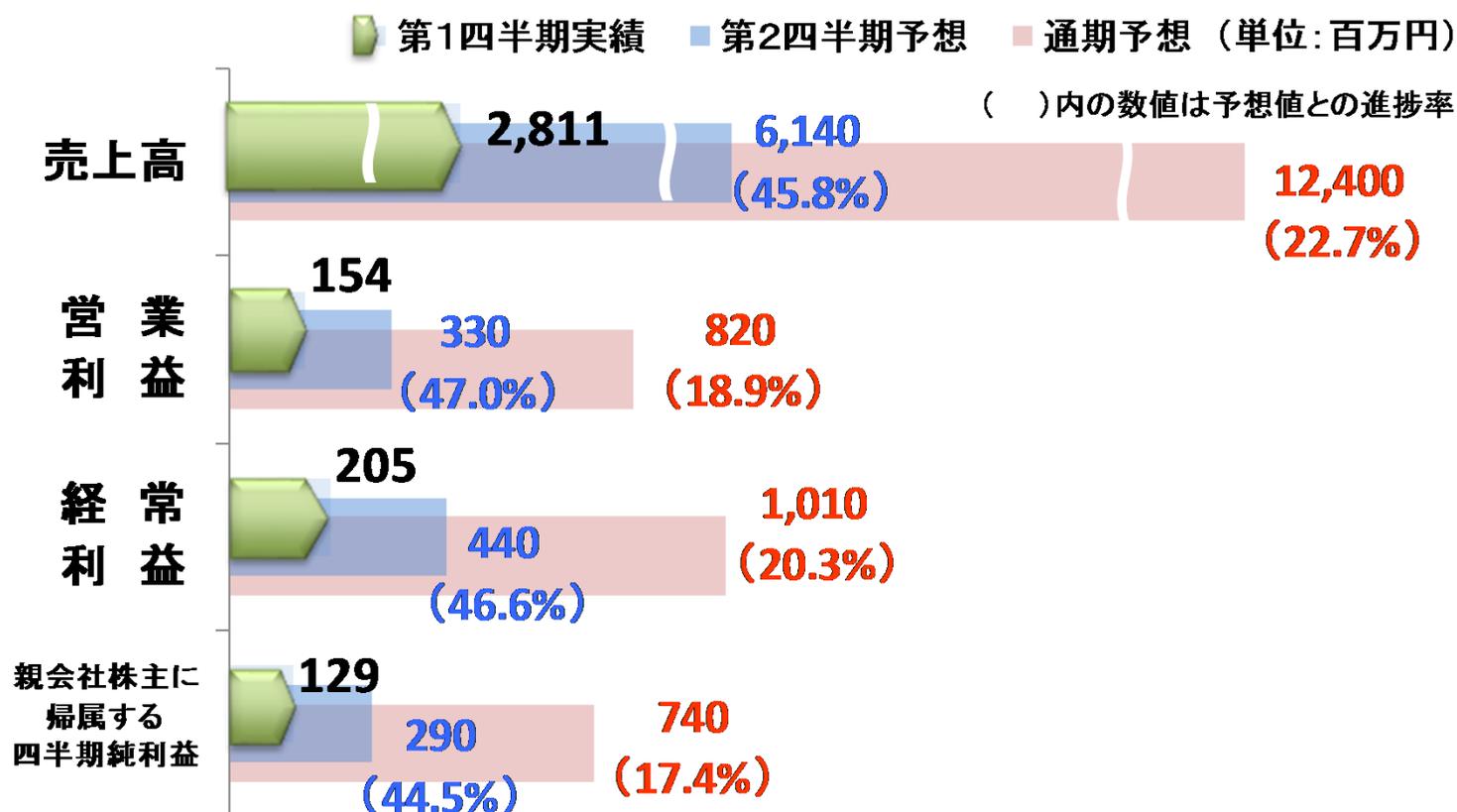
※売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額

業績予想について

今後の経済見通しにつきましては、米中貿易摩擦の長期化及び中国経済の減速等、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

当社グループの注力市場につきましても、市場動向に対して慎重な見方が必要ですが、現段階では、**2020年3月期の業績予想は、2019年5月16日に公表いたしました予想から変更はありません。**

連結業績予想数値(2019年5月16日公表)と進捗率



■ご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

また、掲載されている情報は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。

従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。当社の内部要因や当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おきください。

投資に関する最終的な決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。